

真夏の暑さが続く中、1学期の終業式を迎えました。7月中旬から新型コロナウイルス感染症の罹患者が急増しており、感染対策の徹底が求められる状況ですが、三者面談を経て、夏休みの過ごし方も明確になったことと思います。それぞれが自身の目標を達成できる有意義な夏になりますように。

国連セミナー 7月8日



7月8日（金）7限目に1・2年生を対象に体育館で元国連世界食糧計画（WFP）のアジア地域局長である忍足謙朗（おしだりけんろう）氏による「世界とつながる国連セミナー」を実施しました。テーマは「国連から見る一世界の不公平」で、世界の飢餓問題や紛争地への食糧支援について忍足氏の講話を聞きながら、世界の現状や今後について考えました。忍足氏の意向で、体育館では忍足氏を円形に囲む形で座りました。忍足氏は冒頭で「世界は思ったよりも小さく、繋がっている。しかし、公平にはできていない。」と述べ、飢餓を深刻化させる要因として気候変動よりも紛争を挙げ、人間が壊していったものを元の状態に戻すために予算を多く使うところに葛藤を感じる等の思いを語られました。ウクライナへの侵略が食糧や燃料価格高騰を引き起こし、WFPの食糧支援に影響を与えていることにも触れ、「遠い国の出来事だから関係ないという考えは捨ててほしい。困ったときはお互いさま。これを世界レベルで考えられるか。全部繋がっている。心のどこかで自分は世界の一市民であるという気持ちを持ってほしい。」と訴えられました。16時から、場所を会議室に移し、1～3年生の希望者を対象に第2部を行いました。参加した約20名の生徒たちは17時半頃まで、途切れることなく忍足氏に質問し、質疑応答を繰り返しながら考えを深めました。第1部も第2部も大変有意義な時間となりました。



木戸地先生に感謝状贈呈 7月8日

7月8日（金）、本校で教員時代も含め約56年間にわたりハンドボール部の指導を献身的にしてください、先月ご勇退された木戸地伸先生に、東校長が感謝状と記念の盾を贈呈しました。木戸地伸先生は「生徒たちが優しく接してくれたおかげで長い間務めることができ、本来なら卒業していった生徒たちに感謝状を渡したいぐらい。」「学校教育としてのクラブ活動は、人間形成に非常に大切な活動であり、長く関わらせていただいたことに感謝しています。」と述べられました。感謝状の贈呈に続き、ハンドボール部の部員やマネージャーが花束と寄せ書きを贈り、感謝の思いを伝えました。



第1回高校生のための和歌山未来塾 7月10日

7月10日（日）14:00～16:00、ダイワロイヤルホテル ホテル&リゾート和歌山 串本にて、令和4年度第1回高校生のための和歌山未来塾が開催されました。東京大学名誉教授、帝京大学元客員教授の久保田弘敏先生が、「ロケットと人工衛星の“なぜ”を考えてみよう～宇宙システム工学のすすめ～」と題して、宇宙とはどんなところ？宇宙の開発・利用はどのように行われてきた？というお話や、先生が取り組んでこられた空力加熱防御のお話などをしてくださいました。質疑応答の時間では、質問等が尽きず、時間いっぱいまで熱心なやり取りが行われました。本校からは約60名の生徒が参加しました。



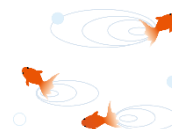
SDGs 学習会 7月15日



7月15日(金) 5～7限目に1学年でSDGs学習会を行い、カードを使用した社会シミュレーションゲーム「SDGs de 地方創生」で持続可能なまちづくりについて考えました。1クラスを複数グループに分け、それぞれが行政と住民のいずれかの役割を担いました。「人口」「経済」「環境」「暮らし」の4つの指標を見ながら、まちづくりに関する与えられたアクションをクリアし、それぞれの「志」(ゴール)の達成と持続可能なまちの実現を目指します。ゲームには赤岡誠さん(那智勝浦町福祉課)をはじめとする公認ファシリテーターが講師として参加し、SDGs全般についての説明やゲームの運営、振り返りなどを行いました。生徒たちは、目標達成に資するプロジェクトを実現するため、資金や人的資源を集めに奔走し、社会に与える影響やリスクについて活発に議論を交わしながらゲームを進め、持続可能なまちづくりについて理解を深めました。



1学期終業式 7月20日



7月20日(水) 3限終了後に、1学期終業式を校内放送で行いました。校歌静聴に続いて、東校長が式辞を述べ、2017年にノーベル平和賞を受賞した国際NGOである核兵器廃絶国際キャンペーン・通称「ICAN」を代表して授賞式に出席し代表演説を行ったサーロー節子さんを紹介しました。その中で、夏休みには平和への思いを新たにしてほしいということ、サーロー節子さんに連絡を取り自校での講演を実現させた高校生のように何にでも臆することなくチャレンジする精神を持ってほしいということを特に強く話されました。終業式後には生徒支援部長から夏休みの諸注意がありました。8月23日までの夏休み、体調には気をつけて、有意義な時間を過ごしてください。



進路関係の講演会・説明会を実施

7月1日 進学講演会 19:00～20:00 会議室

河合塾進学アドバイザーの佐藤暁宣氏が「最新の入試動向と保護者の心構え」について講演されました。約30名の保護者の方々が参加されました。YouTubeで講演の動画を公開していますので、ご覧ください。

7月8日 和歌山県立医科大学薬学部校内説明会 16:05～17:00 視聴覚3

平田収正副学部長が昨年度に引き続き来校くださり、養成する人材(①高い実践能力を有する薬剤師、②地域で活躍できる薬剤師、③国際的に活躍できるファーマシスト・サイエンティスト)について、また教育カリキュラムの特色、薬学部での講義内容、令和5年度入試について等、詳しくお話くださり、大変興味深い内容でした。

7月11日 防衛大学校出前講座 16:05～17:00 視聴覚3

電気情報学群電気電子工学科の森武洋教授(工学博士)が「電波と光について考える」と題して、電波や光が持つ屈折や反射などの性質について述べ、それらを扱う技術が携帯電話や無線LAN、光通信などさまざまな形で利用されていることを生徒たちに紹介しました。またその後、大学校の説明や紹介が詳しくなされました。

7月12日 なぎ看護学校校内説明会 16:05～17:00 視聴覚3

なぎ看護学校の尾崎裕美先生が、学校の概要や特徴、地元の看護学校としての取り組み等について説明してくださいました。将来看護師を目指したいと強く志望する生徒を求めています、とのことでした。

